

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 K 様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他塗装工事一式

工事住所 朝倉郡 筑前町 朝日

工期 着手 平成 年 月 日

竣工 平成 年 月 日

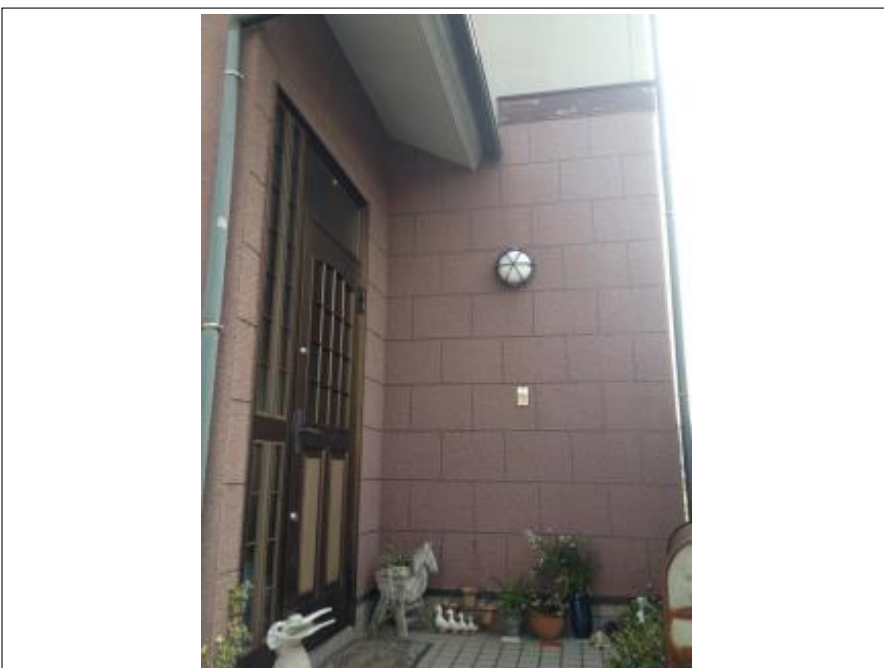
工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



玄関廻り

アクセントはつけて塗装をおこないません。



屋根 【洋風コンクリート瓦】

洋風コンクリート瓦はセメント：骨材＝1：3
(通常のセメント瓦はセメント：骨材
＝1：2) で作られており、その上にカ
ラスラリ層とアクリルクリヤー
でできております。

塗装の際、劣化による脆弱なスラ
リ層と巣穴が深いなどがありま
す。



屋根

塗装をおこなう場合、脆弱なスラ
リ層の上に塗装をおこなうと剥離
の原因、また巣穴が深く、塗膜の遮
断力が不足し水分等が浸透してしま
うので、洋風コンクリート瓦は高圧洗浄二
回おこない密着の悪いスラリ層を
除去し、専用下塗りを二回と上塗り
二回の四回塗りが必要です。



軒天

経年劣化しています。この部分は通
気性の良い軒天専用塗装を二回して
いきます。



破風・鼻かくし

旧塗膜が剥離をおこしています。
このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



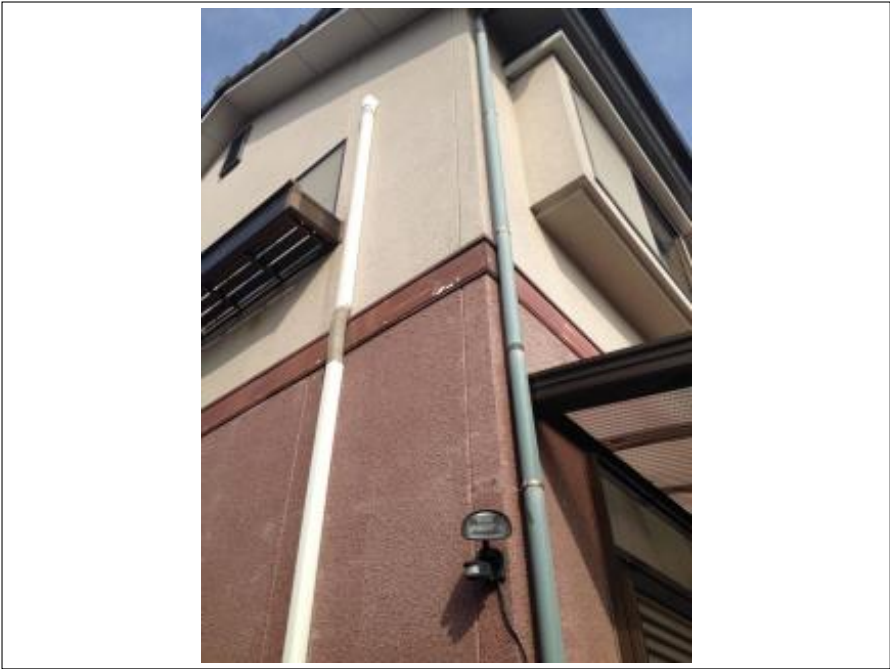
胴差し

同上



小庇(木部)

同上



ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



シャッター部

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



シャッター部

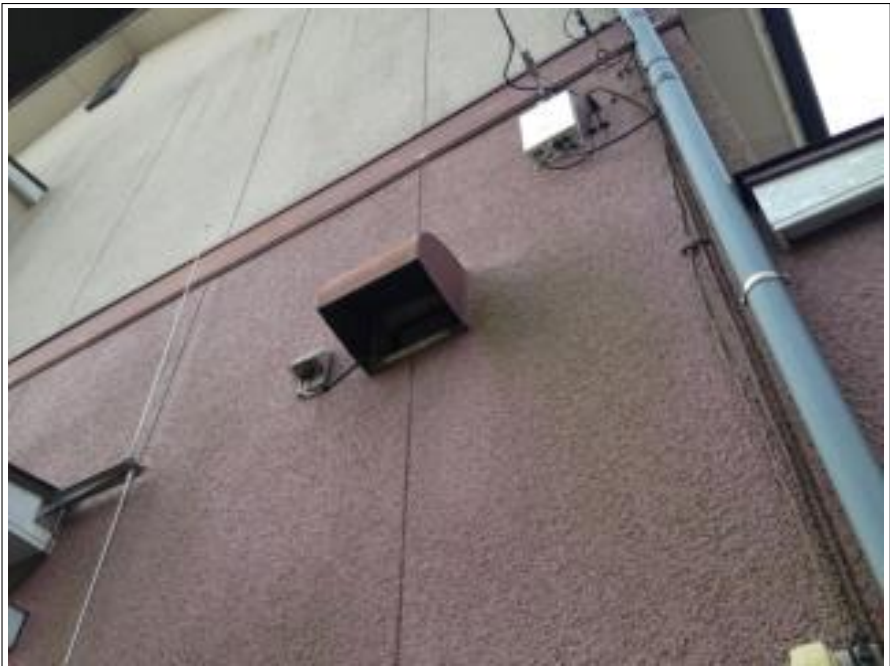
対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

同上



土台水切り

同上



基礎クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



外壁 色あせ部

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁

色付きの石粉や陶器の粉をアクリル樹脂と混ぜて吹付けており、厚膜の塗装ですが、劣化するとカビが一番発生しやすい塗装です。

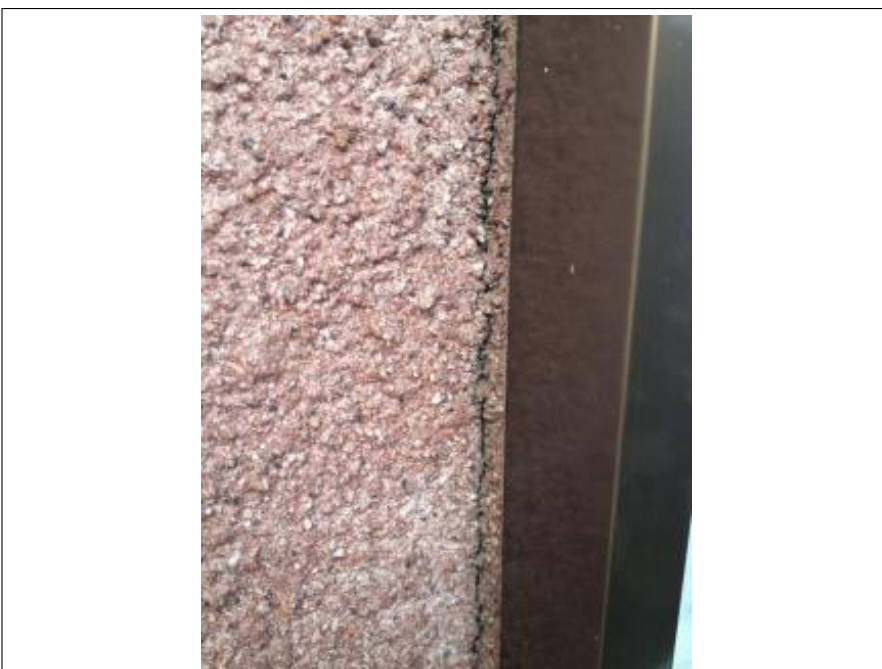
また防水効果が低下すると雨水や湿気を吸い込みやすく目も荒いため、塗装の際は下塗りを二回と上塗り二回の四工程をお勧めします。



外壁クラック部

数か所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



外壁クラック部

同上



外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



外壁カビ発生部

同上



外壁カビ発生部

同上